

# 学ぶ・語る・出会う

## 社会人ボランティアの声

栄 信博さん

受講科目名

- ・心とからだの健康
- ・身近にある「ゆったりもの」一方言をつかまえようー

ーなぜこの授業を選ばれたのですか？

A.まず、題名からしてとても身近なテーマだよね。そこに惹かれました。それに、自分が学生の際は座学が中心だったから、そのスタイルの授業が自分にも馴染みやすいかなと思ったしね。それと学生の人数がある程度いるということは、それだけ色々な考えが聞けるかなという期待もあったから。

ー授業を受けてみて、どんな印象を持たれましたか？

A.とにかく楽しい。  
どちらの授業も毎回学ぶことがたくさんあって、自然にメモを取っている自分がいるくらい(笑) 34年半会社に勤めたけど、メモなんて取ったことあったっけ・・・と思ってね(笑) 興味があることはやっぱりメモも取るし、すごく楽しいよね。

ー学生の印象は？

A.正直、学生さんはうらやましいなあ〜って思うよ。  
それで自分が学生時代のことも振り返ったりしてね(笑)  
いい時期にいるって気付かないもんだよね。自分も学生の時、ほんとにいい時期だったって気付かなかったよ。こんなに学問って楽しいってね。気づけたらいいけど、難しいのかもね。

ー栄さんにとって、今大学に来るということとは？

A.大学そのものから学んでる。  
7割は授業から。いつもいい話聞けたなあって、うれしくなる。  
3割は社会勉強かな(笑)

—社会にいらしたのに！？

A.うん。

それはね、会社でもいろいろな社会勉強させてもらったけど、大学にいる人たち・・・先生や学生さんや、我々のような社会人や、そんな人たちとの触れ合って、また自分がいた会社という社会とは違っていてね。ほんとに人と人との出会いの素晴らしさを実感させてくれるんだよ。

—なるほど・・・生活のため、収入を得るためという社会から離れて築かれる新しい出会いですね。

A.そう。ほんとう嬉しいよね。

—では、学生や先生に何かメッセージをお願いします。

A.妻は大学に勤めてるんだけど、自分がこうして履修してみて、大学の先生の大変さがよく分かりました。学生にどうやって伝えていくか、本当に難しいことですね。でもその中で90分の授業があって、ほんの2～3分、いらぬ話をしてもいいかもしれないね。人間っておもしろいもので、余計な話って覚えてるもんだよね。授業の内容とは関係ない話とか（笑）できれば新聞の小さな記事とか、専門分野から離れたものを取り上げて話してくれても楽しいかもね。学生さんにとって、学問的な知識を身につけられる授業はとて大切だけど、記憶に残る授業っていうもの必要なのかもしれないね。

学生さんに対しては、メッセージというよりは社会人の立場からだけど、学生さんのいいところを伸ばしてあげることが大切だなって思う。我々社会人は出しゃばり過ぎないように、控え目にね（笑）そう思ってるんだ。それと授業を休むことは失礼になるよね。それは気をつけてます。

あと、もう少し若い社会人の参加があつたらいいなあ。学ぶ意欲を持ってる社会人、きっといると思うしね。働いてる社会人が学べる時間帯も必要かもしれないね。

いつも穏やかな表情でお話される栄さん。学生の発言の機会を大切に下さって授業に参加されています。

とにかく学ぶことは楽しい！うれしい！と笑顔でおっしゃっていらしたのが印象的でした。人との出会いに心から感謝。こうして学んでいるのも人との出会い。縁のおかげです。との言葉に、思わず「ありがとうございます」と言ってしまった私でした。そのくらい、いい言葉をいただきました。

栄さん。ありがとうございました。

5月7日（木） 学生支援室にて